

令和5年度（前学期）授業見学強化週間 授業見学アンケート（最終集計）

令和5（2023）年9月20日

1. あなたのお名前

2. あなたの所属

所属	○録画視聴、(※)は複数見学	見学件数	人数
国際文化学科		3	3
山城智史、長尾直洋、林智昭			
国際観光産業学科		0	0
スポーツ健康学科		13	9
高瀬幸一、榎原伴子、石橋千征、仲田好邦、神田奈津子、岡部麻里、笠村淳子、神谷義人、神崎園子			
看護学科		5	4
横川裕美子、大城凌子、松下聖子、富山千穂			
健康情報学科		8	7
木村堅一、天願健、高安美智子、大城真理子 太田佐栄子、上門要、島康貴			
国際文化研究科（博士後期課程）		0	0
看護学研究科（博士後期課程）		1	1
鈴木啓子			
非常勤講師		0	0
職員		0	0
	合計	30	24

3. 見学された授業名をお答えください。

	科目名	見学件数
1	日本語教授法（当銘盛之）	1
2	地域研究方法論（清水美里）	7
3	組織心理学（金城亮）	4
4	野外教育論（遠矢英憲）	4
5	現代思想（大峰光博）	6
6	精神保健（平上久美子）	4
7	解剖生理学 I（木村安貴）	2
8	ヒューマンケアリング（伊波弘幸）	2
	合計	30

4. 見学日（実施期間のうち、7月6日(水)は提供科目の開講がない曜日のため項目なし）

見学日	見学件数
7月3日（月）	7
7月4日（火）	4
7月5日（水）	該当なし
7月6日（木）	13
7月7日（金）	3
録画視聴	3
	合計
	30

5. 授業見学では、どのような点が参考になりましたか（当てはまるもの全てチェック）

● 日本語教授法（当銘盛之）		見学人数:1人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	0	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	1	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1	
学生への意思伝達のやり方	0	
対話の引き出し方	1	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 地域研究方法論（清水美里）		見学人数:7人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	6	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	3	
教材の選択や構造化	4	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	5	
学生への意思伝達のやり方	4	
対話の引き出し方	2	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	1	

・初めての教科だったので、私自身の理解が追いついていけなかった。

● 組織心理学（金城亮）		見学人数:4人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	2	
教材の選択や構造化	0	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	4	
学生への意思伝達のやり方	2	
対話の引き出し方	1	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	1	

・冒頭のフィードバックペーパー紹介・回答

● 野外教育論（遠矢英憲）		見学人数:4人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	4	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	2	
学生への意思伝達のやり方	2	
対話の引き出し方	0	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	3	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 現代思想（大峰光博）		見学人数:6人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	3	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	3	
教材の選択や構造化	4	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	5	
学生への意思伝達のやり方	3	
対話の引き出し方	3	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 精神保健（平上久美子）		見学人数:4人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	3	
教材の選択や構造化	2	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	3	
学生への意思伝達のやり方	1	
対話の引き出し方	1	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	3	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 解剖生理学 I（木村安貴）		見学人数:2人
項目	見学件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	1	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	2	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	2	
学生への意思伝達のやり方	1	
対話の引き出し方	2	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● **ヒューマンケアリング（伊波弘幸）** 見学人数:2人

項目	見学件数
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	1
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	2
教材の選択や構造化	1
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	0
学生への意思伝達のやり方	0
対話の引き出し方	0
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0
特に参考になる点はなかった	0
その他	0

6. 授業見学の成果をもとに、今後のあなたの授業で取り入れたい工夫があれば、記入してください。

● **日本語教授法（当銘盛之）** 見学人数:1人

学生コメントへのフィードバックを手厚く行うこと

学生コメントが深い理解に基づくものが多いと感じた。学生コメントや質問に対して、調べて回答することで、学生は満足感・充足感を得られると思う。学生はより良いコメント・質問をしようとして、授業を真剣に、考えながら聞くのではないかと思った。

● **地域研究方法論（清水美里）** 見学人数:7人

本日の授業、見学させて頂き、ありがとうございました。質的調査の主要な手法（オーラル・ヒストリー、ライフ・ヒストリー、ライフ・ストーリー）についての概論、基本用語、研究例を理解できました。特に具体例の使い方が勉強になりました。

授業前半では、野入直美氏の研究紹介が効果的に思いました。授業外でも図書館で手に取って読みたくなる紹介でした。

授業後半には、実践課題として、NHKアーカイブの戦争証言「瑞慶山良光」さんの動画を提供するなど、さらに具体的に理解できるよう工夫されていました。また、建学の精神「平和」を深く考えさせる課題でもあり、二重の教育効果を感じました。オンライン中でも動画の音声もしっかりと聞き取れました。

このような具体例を通して、単なる概念的な学習ではなく、新しい知的好奇心のきっかけが生まれるのではないかと思います。

ナラティブを主とする質的研究の方法について、大変勉強になりました。卒業研究でインタビューをする学生指導に活かしたいです。

教材として、公開されている動画を使用することを取り入れて見たいと思いました。

講義内容と関連する具体的な研究書をかみ砕いて紹介する工夫。

オンライン参観ということで、学生の反応が全く分からなかったのが、オンラインでの公開授業の際は、工夫が必要だと感じました。追う言う意味で大変勉強になりました。

動画視聴

-
- ・授業のゴールを提示しつつ、冒頭で前回のフィードバックを行い、本日の学修との関わりを示してから本論へと入っていく点。
 - ・本学の倫理規定、教養演習など、学内の他授業で学生が教わる事柄との関連付けが示され、4年間の学びの体系性を意識できること。
 - ・前回のアクティビティの結果を集計し、学生の回答を分析したフィードバックが行われている点。
 - ・スライドがA3用紙（両面印刷）で配布され、簡潔にまとめられていること。授業も資料に沿って進行し、学生が内容フォローしやすい形で構造化されている。
 - ・まず分野における概説を行い、術語の定義と説明を行った上で、関連する方法論との違いを明示し、具体例と分析例を交えて手法を紹介している。授業後半のアクティビティでは、授業内容に基づき、実際に分析を行う機会が設けられている。学生は実際に手を動かして分析を行うだけでなく、不明点があれば、その場で質問を行うことができる。無論、提出物に記入して質問することもできる。

総じて、学生への配慮がなされた授業設計となっていると実感します。授業は、パワーポイントに沿って進行していきます。授業スライドはA3用紙（両面印刷）で配布され、学生はメモをとりながら授業を聞くことができます。Universal Passportにおいてもレポート執筆時に活用できる資料が配信され、事後学修に対しても細やかな工夫が随所に凝らされていました。時間配分も緻密に計算され、授業最後のアクティビティは、分析の実践を通して復習を行う機会となっています。次週以降も、提出物への丁寧なフィードバックがなされるであろうことを考えると、授業と実践、フィードバックを通して学修が深まっていく授業であると感じます。ありがとうございました。

● **組織心理学（金城亮）**

見学人数:4人

前回の講義の振り返り（Google form）について、講義の冒頭で全学生に共有されていましたが、素晴らしいと思います。私は、個々に回答・対応しているので、今後は全体共有も検討します。参考にさせていただきます。有難うございます。

フィードバックペーパーの紹介・回答。発表内容についての補足説明。

インプットよりアウトプットが多く、学びがより深まる講義形式だと感じたため、今後の講義ではその分量のバランスを調整したい。

中間レポートの優れた報告を何回かの授業にわけてプレゼンさせている、のを参考にしたいと思いました。1回の授業で全員（まとめて）プレゼンさせる方法ではなく、分割することで授業を「プレゼン＋講義」で数回組み立てられ、講義を聞くだけではない、変化のある授業ができて感じました。

● **野外教育論（遠矢英憲）**

見学人数:4人

野外活動のマネジメントという考え方や方法が、実習先などで行うレクリエーション活動にも生かせるのではないかと思った。

投影資料とLMS

レポート課題を与える際のきめ細かい説明がとても参考になりました。

遠隔授業の実施方法や伝え方がとても参考になりました。今後、是非、取り入れていきたいと思いました。

● **現代思想（大峰光博）**

見学人数:6人

指名する学生を予め決めておいて、その学生にコメントを求める方法は参考になった。導入を検討したい。興味深いテーマで、大変勉強になりました。ありがとうございました。

社会的なニュース、歴史、法律、政治と多角的な視点から提示される資料を分かりやすくまとめられた説明の仕方（語りとスライド）

実際個人の生活に関係のある事例やたとえを上手に説明していた。最初と最後の話題提供が、講義で学びで、最後の話題に対しての思考が変化している学びを得られるように工夫しているところを取り入れたいと感じた。

大人数での講義の行い方について、同じような大人数の科目を担当する者として、教授法は参考になりました。

大人数の講義においても学生との対話の方法を一方通行ではなく、双方間でのやり取りをできる工夫について検討していきたいと思う。

他分野の授業はある意味色々参考になります。

授業の構成と伝え方について大変勉強になりました。

大講義の実施方法や授業の進め方が大変参考になりました。学生の関心を引き付けられるよう、授業を行っていききたいと思います。

● **精神保健 (平上久美子)**

見学人数:4人

学生が主体的に授業に参画できるような工夫 (プログラム) や授業時間外での学習活動を促進する工夫など、協同学習を取り入れた授業をモデルに今後の授業づくりにとりいれていきたいと思いました。ありがとうございます。

学生主体の授業の在り方とそのため事前の準備時での学生サポートの重要性

授業において、学生の取り組み意欲を向上させることができるよう、学生への働きかけの手法を学ばせていただきました。

特になし

● **解剖生理学 I (木村安貴)**

見学人数:2人

授業が終始会話長ですすみ、テンポが良かった。学生が飽きることなく聴講できると感じた。教科書はほぼ船員が所持しており、教科書に書き込む学生が多かった。一方で、授業資料をPC上で見ている学生やプリントアウトして持参する学生もあり、教材の選択肢が多くあることが伺えた。内分泌を面白く教授するのは難しい分野だが、途中で問題を入れたり、時事を入れたり、有名人 (アニメ・プロレス) を紹介したり、退屈しないような工夫が細かく多く入れられていた。

対話型で記憶に残る内容と紐付けてお話されていたのが印象的でした。覚えないといけない範囲がとても多いのが共通するため、ぜひ参考にさせていただきたいと思いました。

● **ヒューマンケアリング (伊波弘幸)**

見学人数:2人

経験を基に話していることや専門用語をわかりやすい表現で伝えることは取り入れたいと思った。

学生に伝えたいことが明確で、事例を用いてわかりやすく説明していたことや、学生の興味関心を引き出すスライド作成の工夫など、取り入れていきたい。

7. 今回の授業見学の成果について評価してください

項目	見学件数
満足	23
やや満足	5
どちらともいえない	2
やや不満	0
不満	0
	30

8. 最後に、授業見学強化週間に対する感想・意見・要望等がありましたら、記入してください。

日本語をここまで深く検討したことがなかったので新鮮でした。

授業方法・指導法のみでなく、授業内容が大変勉強になりました。

自分の専門分野と異なる分野の授業を受講できる機会として活用できました。

量的研究を指導する教員として、本学の学生に対する質的研究の指導実践を見ることができました。量的研究よりも、さらに難解な概念理解と熟達度が求められる手法だと思いますが、本学の学生の研究報告の中でどの程度、質的調査の技術習得がでているのか、授業で苦労されている点はどこか知りたいと思いました。

学生評価アンケートの振り返りで、教員が自身の講義を振り返る「今後の改善点」などありますが、そこで1項目増やして、授業見学強化週間で学んだことや参考にして試したことなどを書く場所が一つあっていいかもしれません。

いわゆる、この取り組みの効果確認がそこでレビューできるかもしれません。

各学科で、授業見学実施対象科目を選定しているので、良い授業ばかりですね。

学生の授業評価が低い授業を見学する、、、というのは、いかがでしょうか？

(感想) ほぼ面識のない、他学科/別分野の先生の授業を見学させていただきました。「授業見学強化週間」でなければ他学科の先生の授業を見る機会はなかったと思うので、良い機会でした。授業を提供していただいた先生に感謝します。

自分の専門外の授業を見学できることは、視野が広がるチャンスだと思う。これからも継続すると良いと思う。

本学がどのような人材を育成するのか、そのためにはどのような授業をするべきなのか、指針がほしい。

歴史的背景を上手に提示し、国内の事例につなげていった。テーマ「優生思想」がよく理解できる準備された講義でした。この興味深い講義を受講できる学生は、自身の批判的思考を高められる講義を受講でき、とてもラッキーだと感じました。最後は、実際のドキュメンタリーを視聴させることで、個人に考えさせる工夫に感動しました。素晴らしい講義をありがとうございました。

看護学科とスポーツ健康学科で、学ばなければならないレベル(詳しさ)が違うことを痛感した。一般ピープルと医療従事者の違いがよくわかった。

正直、参観して参考になることも沢山あると思いましたが、自分の時間確保が厳しい中で、授業見学強化週間が必要かどうか判断しかねる。

見学したい授業が重なり、半分ずつしかみることができず残念でした。

録画視聴が可能な授業については、早めに公開することでアンケートの提出率もあがると思います。

今回の授業見学も大変参考になりました。このような機会をお与え下さりまことに有難うございます。

特にはないです。今後も継続して行ければいいですね。

大変参考になりました。どうか今後ともよろしく願いいたします。

大変勉強になりました。どうか今後ともよろしく願いいたします。

とても勉強になりました。ありがとうございました。

特にありません。